

研究倫理教材の履修の義務化

新規採択課題の研究者に対して研究上の不正行為(捏造、改ざん及び盗用など)を未然に防止するために研究倫理教材(CITI Japan e-ラーニング)の履修を義務化

特徴

- ・国際基準を満たした行動規範教育カリキュラム。
- ・オンラインで24時間、单元ごとに受講が可能。時と場所を選ばない学習スタイル。
- ・日本(CITI Japan Program)と米国(CITI, Collaborative Institutional Training Initiative)の2つのNPO団体が協力して作成。

受講に当たっての留意事項

※所属機関においてCITI Japan e-ラーニングプログラムを受講できる場合は、所属機関の登録にてJST指定单元を履修してください。

JST指定の必修单元

【3コースのうちいずれかを選択して受講】

<1. 責任ある研究行為:基盤編(RCR)>
[生命医科学系に該当]

必修单元

- 1.責任ある研究行為について
- 2.研究における不正行為
- 3.データの扱い
- 4.共同研究のルール
- 5.オーサーシップ
- 6.盗用
- 7.公的研究費の取り扱い

※日本語版・英語版 あり

<2. 責任ある研究行為:基盤編(理工系)(RCR-S)>

必修单元

- 1.研究不正
- 2.工学研究におけるデータの管理上の倫理問題
- 3.責任あるオーサーシップ
- 4.理工学研究領域の論文発表とピア・レビュー
- 5.理工学分野における共同研究
- 6.研究者の社会的責任と告発
- 7.公的研究費の取り扱い

※日本語版・英語版 あり

<3. 責任ある研究行為:基盤編(人文系)>
(RCR-H)

必修单元

- 1.研究活動における不正行為
- 2.盗用
- 3.共同研究
- 4.ピア・レビュー
- 5.公的研究費の取り扱い

※日本語版のみ(英語教材開発中)

・いずれのコースも必修单元の履修に3~4時間程度要。(各单元の履修に30~40分程度要。)

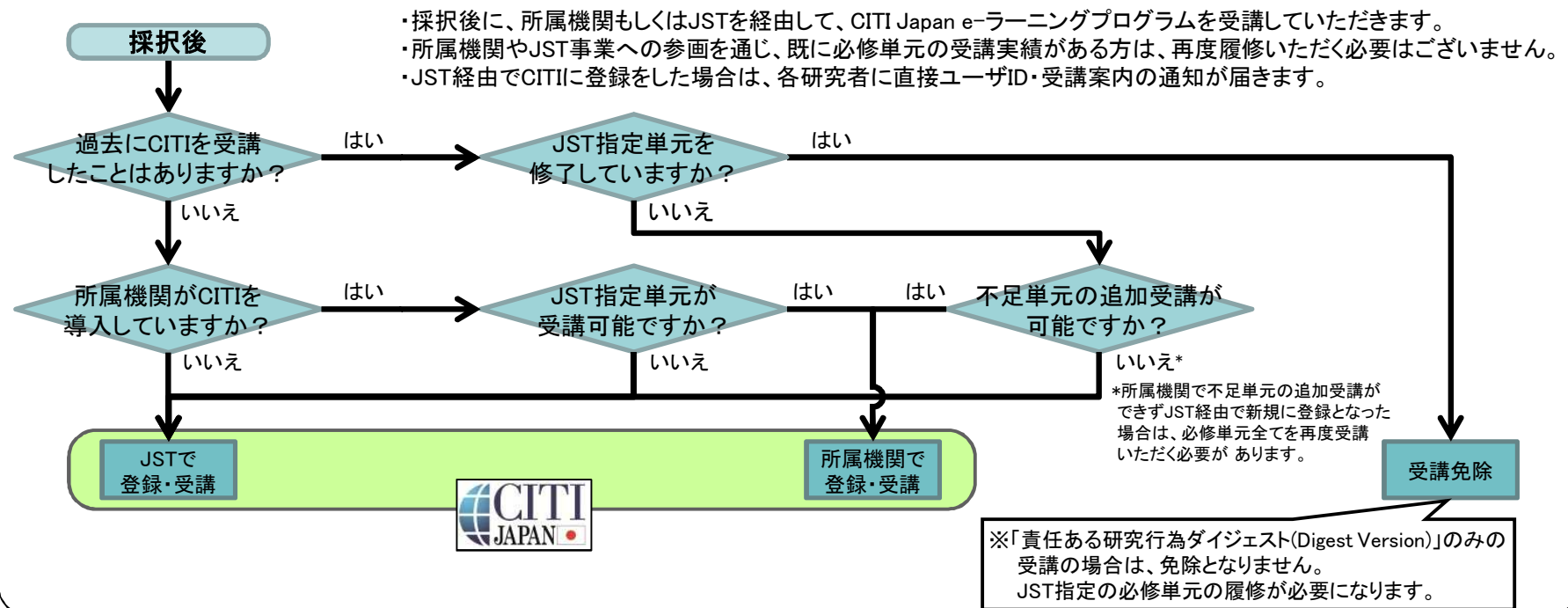
・「責任ある研究行為ダイジェスト(Digest Version)」は不可。ダイジェスト版を履修済みの場合も上記のJST指定单元を受講する必要があります。

CITI Japan e-ラーニング 履修対象者

必修コース

- ・わが国の大学・研究者等が組織するCITI Japanプロジェクトが推進している、研究者の行動規範教育のe-ラーニングプログラムを活用しています。
 - ・「責任ある研究行為:基盤編(RCR)」コース 7単元 ←「生命医科学系」に該当
 - ・「責任ある研究行為:基盤編(理工系)(RCR-S)」コース 7単元
 - ・「責任ある研究行為:基盤編(人文系)(RCR-H)」コース 5単元
- のいずれかを選択して受講できます。

履修対象者 登録手続きの流れ



※履修義務不履行の場合は、委託研究費の全部又は一部の執行停止となりますのでご注意ください。